



高田小学校だより

【令和6年度】11月号

No. 3 4

【教育目標】

自ら学び 心正しく
強い意志のある児童の育成
令和6年12月 3(火)
文責：校長 博多弘泰

対面での給食

第1回学校評価アンケートの自由記述に、「給食の時間、そろそろ班ごとに(みんなで楽しく)食べてはよいのではと思います。」というご意見があり校内で検討をしました。その後、対面での給食再開に向けて、各学年では給食ターの佐藤千恵子先生から、アレルギーに関する注意点の話を聞き、安全・安心な給食になるよう準備を進め、11月11日(月)から約6年ぶり対面(小グループ)での給食が始まりました。対面での給食のよさとして、①苦手なものを克服するよい経験となる②友だちに迷惑をかけない食べ方や食事のマナーを見直すきっかけになる。③子供同士の会話や笑顔が増える。などがあげられます。11月は対面での給食に慣れるため、また、献立のアレルギー対応食等を考慮し、月・木曜日の計6回行いました。給食は、体と心の栄養を取る大切な時間で、人とのつながりもうまれます。インフルエンザやコロナなどの感染症の状況を確認しながら、対面での給食に少しずつ戻していきたいと思ひます。



校内持久走記録会



11月7日(木)に、宮川河川敷のトリムコースで校内持久走記録会が行われました。子どもたちは、これまでの朝のマラソンや体育の時間の中で、一生懸命に練習してきました。持久走は、自分で決めておいたタイムを達成することや試走のタイムを上回ることを目標とするものだと思います。最後まで一生懸命走り抜いた子供たちに大きな拍手を送りたいと思ひます。小雨交じりの大変寒い中、保護者の方に応援をしていただき、ありがとうございました。

授業研究会

11月27日(水)5校時、町教育委員会の指導主事、学校経営アドバイザーを招聘し、1年2組の国語科の授業研究会が行われました。「たぬきの糸車」の単元で、好きなところを選び、好きなところとそのわけを伝え合う学習活動が展開されました。子供たちは、本文の中で一番好きなところに赤線を引き、そのわけ(理由)を考えてノートに書き、友だちと交流していました。好きな場面が同じでも、その理由が違っていることもあり、子供たちは感じ方の違いに気づきながら、考えを広げていました。



P T A 作業(雪囲い)

11月10日(日)、PTAによる校舎周辺の雪囲い奉仕作業が行われました。いつ雪が降っても準備万端となりました。早朝より、たくさんの保護者のご協力をいただきました。



12月の行事予定

- 2日(月)全校朝の会
- 5日(木)個別面談①(短縮4校時)
オーストラリアとの交流(6年
※6年生のみ6校時)
- 6日(金)個別面談②(短縮4校時)
- 9日(月)個別面談③(短縮4校時)
- 10日(火)個別面談④(短縮4校時)
- 11日(水)個別面談⑤(短縮4校時)
- 12日(木)書写指導(3年)
地区児童会
- 16日(月)書写指導(4年)
- 17日(火)書写指導(5年)
- 18日(水)書写指導(6年)
- 23日(月)第2学期終業式

Q U 研修会

11月上旬、3年生以上の学年でオンラインで今年度2回目のQU(楽しい学校生活を送るためのアンケート)を実施しました。11月28日(金)には、会津大学教授兼文化研修センター長の荻間澤勇人先生を招聘し、教師対象のQU研修会を行いました。研修内容を今後
に生かし、居心地のよい学級・やる気のある学級づくりに努めていきたいと思ひます。

